

くりまっこ



2月6日(金)5限目に、今年度最後の授業参観が行われました。この一年間、個人差はありますが、一人一人成長している姿が見られました。保護者の皆様の中にも、わが子の成長している姿を感じ取った方がいたのではないのでしょうか。お忙しいお仕事の合間をぬいながら参観していただき、本当にありがとうございました。

児童会イベント「大縄集会」が行われました!

1月19日(月)・20日(火)・22日(木)の3日間、児童会主催で大縄集会を行いました。昼休みに運動場で、まず、最初の2日間は、縦割り班に分かれて八の字跳びの練習をしました。高学年を中心に、縄を回したり低学年と一緒に跳び方を教えたりする姿がそれぞれの班で見られました。初めに跳べなかった子が練習していくうちに上達している姿がたくさん見られました。縦割り班で競うのではなく、自分たちの最高記録を目指すことを目標に取り組みました。

3日目は記録会を行い、3分間で何回跳べるか班ごとに並び方やかけ声など工夫してやりました。3回チャレンジして一番よい記録を伝え合いました。これを機会に、寒さに負けない体づくりになればいいですね。



5・6年生に理科の特別授業をしていただきました!

先日、三重大大学の太城先生をお招きし、人体の仕組みについて特別授業を行っていただきました。今回は、5年生で学習している「ヒトのたんじょう」の単元と、6年生の「ヒトや動物の体」の単元に関連させながら、それぞれお話をさせていただきました。

授業では、人体を支える骨の名前や役割について分かりやすく教えていただき、さらに等身大の人骨のプラモデルを組み立てる活動にも挑戦しました。実際に手を動かしながら骨を組み立てることで、「ここが曲がるから動けるんだ」「骨の数が多い!」など、さまざまな気づきが生まれていました。

子どもたちは、楽しみながら活動に取り組み、骨のつながりや人体の構造について深く考えることができたようです。教科書だけでは得られない、貴重な学びの時間となりました。

た。今後の理科の学習にも、この経験を活かして行ってほしいと思います。



「人権を考える会」を実施しました！

栗真小学校では、毎年この時期に、「人権を考える会」を実施しています。身近な人権課題について、低中高別に話し合う会です。

低学年は、いろいろな表情をした絵カードを使って、気持ちを出し合ったり、「気持ちのすごろく」を楽しみながら絵の人の気持ちになった時のことを話したりしました。グループの人の気持ちが分かってよかったことや同じ出来事でも、こんな時はこんな気持ちになるんだということ、気持ちを聴いたり、伝えたりすることは大事であることを確認しました。

中学年は、「不安になるとき、どんなとき？」のワークシートを使って、グループで交流しました。いろいろな場面でどれくらい不安になるかや不安を解消するために、自分ができることやクラスでしてほしいことなどをシートに書き、グループで話し合いました。この活動を通して、一人一人の感じ方が違うことや、相手の立場に立って考えることの大切さについて確認しました。

高学年では、「子どもの権利条約」を知ることを通して、一人一人が大切な存在であることに気づくことや自分が権利条約に守られていることを理解し、自分の選択に自信を持って生活していこうと思えることをねらいとして授業を行いました。交流し合う中で、自分と同じところや違うところについて気づいたり、条約で自分たちが守られていることに気づき、条約や人権の大切さについて考えたりすることができました。

この授業をきっかけに、お互いの考え方や思いを認め合って生活していくが、みんなが安心して楽しく過ごせることにつながることを理解し合えるといいですね。

